★アトムバランス栄養学ライセンス大使★

アトムバランス栄養学ライセンス大使
岩崎恭子さん
バルセロナオリンピック
競泳女子200m平泳ぎ
金メダリスト
競泳では史上最年少記録の金メダル獲得
（2010年3月現在）

お肌がきれいになる
新理論

「これだけで満点美肌セット」を食べれば

「1秒ごとに美しく」

毎日、鏡を見るのが
うれしくてたまらない！

1秒ごとに美しく
素肌に
新鮮細胞

美肌の定義は
新鮮細胞

これだけで満点
美肌セット

アトムバランス
栄養学

★アトムバランス栄養学ライセンス大使★
美肌セットは
美肌の金メダル

アトムバランス栄養学ライセンス大使
岩崎恭子さん
バルセロナオリンピック
競泳女子200m平泳ぎ
金メダリスト
競泳では史上最年少記録の金メダル獲得
（2010年3月現在）

人間の体、その全てのもの、
その働き、それは栄養で出来ている。
栄養が、人間も、その体も、その組織も、
その細胞のひとつひとつも、
その働きも、全てつくり出している。
だから、輝く美肌も、栄養が生み出すもの。
この栄養、この命は、
アトムの流れと桶の理論による栄養。
そこで
「これだけで満点美肌セット」

アトムバランス栄養学
アトムバランス食

これだけで満点 美肌セットは

美の3つの力が
1つになって

輝く美肌
＝
新鮮細胞状態維持

●生命の源アミスコ100コッカス
●コッカスオメガ(ω)3
●美肌栄養1粒100·100·100

美の力その1
美の力その2
美の力その3

美の3つの力が1つになって

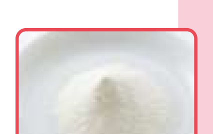
美の力その1
アトムバランス栄養学
美肌栄養 1粒100·100·100

1日5粒

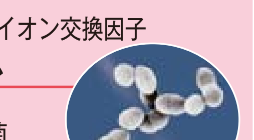
美の力 1粒に100種類の栄養素
＋
美の力 1粒に100種類の自然の恵み
＋
美の力 1粒に100億のコッカス菌

美の力その2
アトムバランス栄養学
生命の源アミスコ 100 コッカス

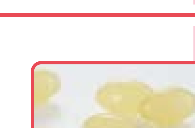
抹茶タイプ　ココアタイプ　プレーンタイプ


1日 1包～2包

美の力 生命の源
必須アミノ酸
＋
美の力 酵素活性因子
マグネシウム
（325種以上に作用）
＋
美の力 生命現象イオン交換因子
カルシウム
＋
美の力 腸内細菌
100兆個の活性因子
コッカス菌


走査型電顕写真 5,000倍
コッカス菌AD101株

美の力その3
アトムバランス栄養学
コッカスオメガ(ω)3


1日3粒～6粒

美の力 不足しがちな不飽和脂肪酸
オメガ(ω)3
（α-リノレン酸·DHA·EPA）
＋
美の力 腸内細菌100兆個の活性因子
コッカス菌

美の力 その1.
美の力 その2.
美の力 その3.
を
毎日愛用

1秒も休むことのない
6,000兆兆個のアトムの流れと
1秒も休むことない
60兆個の細胞の新陳代謝

1日数千億個の細胞が新しくなる。
3ヶ月で60兆個の細胞の
ほぼ全てが新鮮細胞になる。

美肌の輝き

60兆個の新鮮細胞状態維持

美肌の金メダルで1秒ごとに美しく

「桶の理論」

横浜市立大学大学院
医学研究科教授
杤久保　修

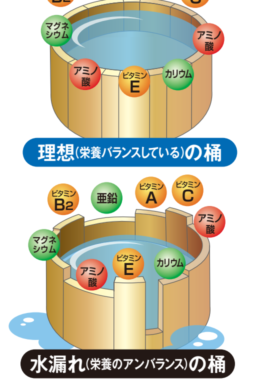
人間は食物を食べ、そこに含まれるさまざまな栄養素で体をつくり、組織をつくり、さまざまな働きを獲得して生命を維持しています。

この生命活動は多様な栄養素による化学反応の結果として獲得されます。組織やその働きをつくり出すために必要な栄養素の種類とその必要な量が同時にバランス（比率）よく供給される時、化学反応が十全に働き、生命は健全に活動します。化学反応の材料となる必要な栄養素がなかったり、あってもその量が不足しバランスが乱れると、組織の合成やその働きのための化学反応を良好に獲得する事が出来なくなるので、生命の健全性は維持されなくなります。さて、ここで**組織やその働きの十全性を賄うに足る、必要にして十分な栄養素の種類と量とが同時に満足**された状態を「栄養バランス 桶の理論（最小養分律）」（以下**「桶の理論」**）が充足されたと言います。以下は桶の理論の説明です。

例えば日本人はカルシウムが不足していると言われています。そこでその不足するカルシウムを摂ります。さて、カルシウムが充足されたとして、これで骨が出来るでしょうか。残念ながら出来ません。例えばカルシウム 2 に対しマグネシウム 1 の割合で同時に摂取しないとカルシウムをそもそも細胞に取り込むことが出来ません。仮にマグネシウムが必要量の半分しか摂取されない場合は、カルシウムを必要量摂取しても半分は無駄になって排泄されてしまいます。又、カルシウム 2 に対し、リンを 1 の割合で同時に摂取しないと、骨の主成分リン酸カルシウムが出来ません。ところで、これらカルシウムやリンやマグネシウムを2：1ずつ摂ったとしても、それで骨が出来る訳ではありません。カルシウムやリンは建物に例えれば、いわばセメントであって、建物を支えるためには柱が必要です。この柱は骨で言えばコラーゲンです。コラーゲンを作るためにはグリシンをはじめとする 20 種類のアミノ酸が必要で、この時、亜鉛、銅、鉄など 13 種類の必須ミネラル、ビタミン C、ビタミン D、ビタミン A、ビタミン K など 13 種類の必須ビタミンが必要で、かつ、これら栄養素ごとの十全な量の供給があってはじめて十全な化学反応が引き出され、骨になります。従ってカルシウムが不足だからと言ってカルシウム単品を充足しても意味がないことが分かります。体の組織や、その働きは、単品の栄養素で機能することはなく、実に多様な栄養素と量を同時に十全にバランス良く摂取することを要求しています。この要求が満たされた時、体は十全に機能します。これが桶の理論です。桶の理論では桶の板の長さの一番短いものに合わせてしか水を桶に貯められない様に、栄養も必要な種類の栄養素の一番少ない量に合わせてしか化学反応を引き出せず、組織やその働きを充足させることができません。十全な化学反応を引き出すための必要にして十分な量と種類が必要です。

結婚相手（化学反応の相手）がいなければ子供（生命活動に必要な組織・あるいはその働き）は生まれないように、体の組織やその働きを十全にするためには、**十全な化学反応を獲得する桶の理論に基づく栄養の摂取が必要**です。

単品の栄養サプリメントではこの桶の理論を満足させる事は出来ません。ところで、現代人の食生活は、偏食や外食、あるいは加工食品の日常的摂取、更には化学農業など、さまざまな要因によって栄養のアンバランスが一般化し、日常化しています。そこで、これら現代人の食生活の問題を解決するために、桶の理論の一般化とその文化化を含めてアトムバランス栄養学を提案することにしました。


ビタミンB2
亜鉛
ビタミンA
ビタミンC
マグネシウム
アミノ酸
アミノ酸
ビタミンE
カリウム
理想（栄養バランスしている）の桶
ビタミンB2
亜鉛
ビタミンA
ビタミンC
アミノ酸
マグネシウム
アミノ酸
ビタミンE
カリウム
水漏れ（栄養のアンバランス）の桶

これだけで満点 美肌セットQ&A

アトムバランス
栄養学

質問1

コラーゲンを食べると美肌になるということでブームになっていますが、先日、日本経済新聞（2010年1月24日付）に「コラーゲンを食べても美肌にならない」という記事が載っていました。防衛医科大学校の多島新吾教授や、岡山大学 分子医化学の二宮善文教授も、コラーゲンを食べても美肌にならないとコメントしていました。一体どちらが正しいのでしょうか？

教授の答

コラーゲンを食べても全く美肌とは関係がありません。
コラーゲンを食べると消化管で消化酵素によって分解され、アミノ酸やペプチドとなり、更にはアトムレベルまで分解されて肝臓に行き、心臓に行き、各組織に分散されます。**特別に肌に行くわけではありません。**ところで、コラーゲンが分解されると、ヒドロキシプロリンやヒドロキシシリンになりますが、これらはコラーゲンを再合成しないことが分かっています。DNAの塩基配列には20種類の決められたアミノ酸を組み立てる設計図が存在しますが、ヒドロキシプロリンやヒドロキシシリンを蛋白質に組み込む設計図はありません。**つまり、コラーゲンを食べてもコラーゲンにはならないということです。ましてや、美肌には全くなりません。では、美肌のためにはどうしたらよいでしょうか。**必須ミネラル13種類、必須ビタミン13種類、必須アミノ酸9種類、必須脂肪酸2種類の必要量を、十全に化学反応が獲得出来るよう同時に食物から摂ることです。一番確実な方法は、**「これだけで満点　美肌セット」**です。美肌セットは必須栄養素に止まらず、100種類の栄養素が入っています。その上、美肌に大切な腸内細菌の健康バランスを活性化させるコッカス菌も入っています。通常の食事と合わせて摂れば、**「これだけで満点」**です。これが美肌の近道です。

質問2

なぜ、今「これだけで満点 美肌セット」が生まれたのか？

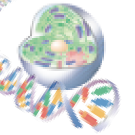
教授の答

美肌とは、1秒も休むことのないアトムの流れと、新陳代謝によって、毎秒毎分毎時毎日入れ替えられている、細胞ひとつひとつの動的なイキイキした状態（新鮮細胞状態といいます）を指します。ヒトまるごと60兆個の細胞は、おおよそ3ヶ月で新しく入れ替わります。この1秒も休むことないアトムの流れと、新陳代謝のためには、アトムの流れの理論と桶の理論に基づく、肌を含めた60兆個の細胞への絶えざる栄養供給が必要です。そこで、アトムの流れの理論と、桶の理論を基にした美肌栄養**「これだけで満点　美肌セット」**です。通常の食事にこれを加えれば、美肌新鮮細胞**「満点」**になります。

質問3

「新鮮細胞状態」とは何ですか？

教授の答



人間はアトムで出来ています。その数は 6,000 兆兆個です。このアトムが、60兆個の細胞を形成しています。この細胞が組織をつくり、その働きを生み出しています。これら6,000 兆兆個のアトム、60 兆個の細胞、それらによる組織、更にはその働き、これら全ては栄養でつくられています。人間とは、栄養の産物です。生きているとは、栄養による動的化学反応そのものです。**60 兆個の細胞は、おおよそ3ヶ月で全てが入れ替わります。入れ替わらない細胞は1つもありません。つまり、1 秒も休むことなくアトムが入れ替えられ、川のように流れ、細胞が 1 秒も休むことなく新陳代謝（細胞分裂を含む）を繰り返し、日々新たに維持されています。これが「新鮮細胞状態」であり、美肌として輝いている状態です。**

ご愛用者からの質問に越浦教授がお答えします。

越浦良三
北陸大学名誉教授・
元学長、
薬学博士（東京大学）

これだけで満点
美肌セットは
私がたくさんの
科学者や医師と
開発しました。

質問4

「新鮮細胞状態」が維持されることが、どうして大切なのですか？

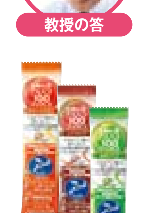
教授の答

この**「新鮮細胞状態」が維持される時**とは、**美肌が動的に輝いている時**です。当然、これは、**恒常性が維持され**、即ち、**健康が維持され、各細胞が元気な状態にあるということです。**これが **1 秒も休むことなく美しく輝いている状態**になります。ところで、60 兆個の細胞が複雑に組織となり、その働きを維持するという時、これは全て動的化学反応をしている状態にあって、その化学反応が正常であるということになります。この 60 兆個の細胞のそれぞれに於ける、動的化学反応の正常性を維持するために必要な栄養補給が、**「アトムバランス栄養」**です。**「美肌セット」**は、そのためのものです。

質問5

この美肌セットは、ダイエットにもよいのではないですか？

教授の答



勿論です。**この美肌セットは、理想のダイエット食品**でもあります。
例えば、60兆個の細胞の新鮮状態を維持するために、女性の平均体重では、必須アミノ酸10gが必要です。美味しくいただくために、**「生命の源アミスコ100コッカス（以下「アミスコ100」といいます）」**1包を牛乳200mlに溶かして飲むと、必須アミノ酸が5.8g（桶の理論による）摂れて、カロリーは164kcalです。**2包で、必須アミノ酸11.6g（桶の理論による）、カロリーは328kcal。これで1日に必要な必須アミノ酸が摂取出来ます。**
更に、カルシウムもマグネシウムも十分に補えます。又、**「美肌栄養1粒100·100·100」で100種類の栄養や100種類の自然の恵みを摂ることが出来ます。**
加えて**「コッカスオメガ（ω）3」で不足しがちな不飽和脂肪酸も摂ることが出来ます。**
これだけで1日たった328kcalで、1日に必要な栄養素の種類と量がバランスよく摂れるということは、安心してダイエットに取り組めるということになりますから、最適なダイエット食品となります。但し、栄養の種類と量が十分に足りていても、328kcalでは1日に必要なカロリーには不足しますので、**通常の食事で、バランスよくカロリーを摂ることも大切です。**

質問6

肥満は、消費カロリーよりも摂取カロリーが多いオーバーカロリーが原因です。ではどうして必要以上に食べてしまうのでしょうか？

教授の答

基本的には、体に必要な栄養が不足していると、脳の視床下部の摂取中枢が「食べろ信号」を出します。例えば、必須アミノ酸10gが不足しているとして、ステーキでこれを摂ろうとすると、300g食べるまで「食べろ信号」が続きます。ステーキ300gでようやくこの必須アミノ酸10g（桶の理論による）が摂取されることになります。ここでやっと満腹中枢が働いて、「食べるのを止めろ信号」になります。この時、この必須アミノ酸10g（たった40kcal）を摂るために、300gを摂ることになるわけで、この結果、脂肪など余分な栄養と過剰なカロリー（1,500kcal）を摂ることになり、肥満の原因となります。但し、通常はステーキだけを食べるわけではなく、パンやご飯なども食べます。もし仮に、ご飯だけでこの必須アミノ酸10g（桶の理論による）を摂るとすると、お茶碗11.8杯、カロリーは2,970kcalです。食パンなら、11枚で1,740kcalということになります。アミノ酸バランスのよい食物としては、納豆や卵や鮭などが挙げられます。因みに、納豆で必須アミノ酸10g（桶の理論による）を摂ろうとすると、約7パック、卵なら4個弱を毎日摂ればよいことになります。但し、必須の栄養素のマグネシウムは、納豆で必要量の1/10（1パック当たり）、卵で1/45です。つまり、大幅に不足しています。カルシウム等も同様で、他で摂る必要があります。
因みに、**アミスコ100**では、上記の例で1日分を十分に摂ることが出来ます。美肌セットでは余分なカロリーがなく、必要な栄養素を十分に必要なだけ、毎日摂取出来るようになっています。偏った食物で栄養を摂ろうとすると、余分な栄養とカロリーを不必要にどんどん摂ることとなり、肥満になります。栄養バランスのよい（桶の理論に沿った）食事が必要ということになります。但し、実際の食事では、どの食物にどの栄養素、例えば必須アミノ酸やマグネシウム、その量がどの位入っているかは分からないため、栄養バランスが偏った食事になりがちです。これが肥満の原因です。

アトムバランス栄養学
ライセンス大使

質問7

美肌とは、新鮮細胞状態ということですが、これは、健康ということにもなるのでしょうか？

教授の答

その通りです。60兆個の細胞が、1秒も休むことないアトムの流れと、1秒も休むことない新陳代謝（細胞分裂含む）を維持している状態が、新鮮細胞状態であり、これはそのまま健康ということになります。そもそも美肌とは、60兆個の細胞の元気、即ち、健康の別の表現になります。

質問8

「美肌栄養1粒100·100·100」は、なぜ1粒に100種類もの自然の恵みの食物や、100種類の栄養成分、100億個のコッカス菌が入っているのですか？

教授の答

人間の体とその働きはすべて栄養で出来ています。この時、この栄養とは、体のさまざまな組織をつくるための必要なさまざまな栄養であり、その複雑なさまざまな働きを支えるさまざまな栄養です。それらが必要としている栄養の種類は、少なくとも100種類以上あります。そこで、これを満足させるために、**100種類の栄養成分と100種類という実に多様な数の自然の恵みがもたらしてくれる栄養が入っています。**自然の恵みによって自然がつくり出した少なくとも100種類を越える栄養を、吸収性よく摂取出来ます。例えば厚生労働省では13種類のミネラルを必須としていますが、これを越えて、必須とすべき硫黄やコバルトやニッケルその他なども摂取することが出来るようになっています。
又、コッカス菌は、人間と共生し、人間の生命を支えている腸内細菌100兆個のバランスと健康を支えるために大きな働きをします。既に100万人の方々が愛用しています。

質問9

アトムは例えばどんな働きをしていますか？

教授の答

アトムはたった1個でも大きな働きをしています。例えば、ヘモグロビン（蛋白質）には鉄アトムが1個だけ入っています。この鉄アトムが1つあるお陰で、酸素を全身に運ぶ能力を身につけ、これが人間の命を支えています。ヘモグロビンから鉄アトムがなくなると、単なるグロビンになってしまい、その働きもなくなります。**ヒトまるごと60兆個の細胞は、すべてアトムでつくられています。**例えば、システイン（$C_3H_7NO_2S$）の硫黄（S）の部位に、セレン（Se）が入れ替わると、グルタチオンペルオキシダーゼの活性中心の核になるセレノシステイン（$C_3H_7NO_2Se$）に代わり、過酸化水素や過酸化脂質の還元力が飛躍的に向上し、老化やガンを防ぎます。

質問10

「アトム」って何ですか？

教授の答

「原子」のことです。アトム（原子）は、物質を構成する基本的な粒子です。物質そのものの性質をもつ最小の粒子を「分子」といいます。「分子」は普通、いくつかの「原子」が結合して出来ています。例えば「水」。水をどんどん小さくしていくと、分割出来ない最小の粒子＝「分子」になります。この分子を更に分割し、小さくしていくと、水の性質はなくなり、水素原子2個と酸素原子1個になります。水素を表す原子記号は「H」。酸素を表す原子記号は「O」つまり、水素原子2個と酸素原子1個で出来ている「水」を化学式で表わすと、「H_2O」となります。物質はすべて、原子から出来ています。例えば生命の源のアミノ酸、このアミノ酸で構成される蛋白質の原子は数万個です。

●品質には万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら下記までお電話ください。

プロフェッサーズ株式会社 お客様相談室
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-4-3
日本橋MIビル2F
TEL：0800-100-3900（平日9:00～17:30）
FAX:0800-111-3900（24時間受付）

お客様相談室 **0800-100-3900**
http://www.professors.co.jp/

「1秒ごとに美しく」

今日からこのセットでアトムの流れと
新陳代謝による新鮮美肌を
はじめましょう。
岩崎恭子がおすすめします。

アトムバランス栄養学
ライセンス大使

アトムバランス栄養学ライセンス大使
岩崎恭子さん
（いわさききょうこ）

プロフィール

金メダリスト（競泳による史上最年少）
1992年、1996年と2度のオリンピック出場を果たし、92年のバルセロナでは200メートル平泳ぎで金メダルを日本史上最年少で獲得した。98年の競技生活引退後は米国へ児童の指導方法を学ぶために留学。現在は、水泳の指導ならびに水泳の楽しさを伝えるためのイベント出演を中心としながら、メディア・トークショー出演、執筆活動などを精力的に行う。

生年月日：1978年7月21日　出 身 地：静岡県沼津市
出 身 校：日本大学文理学部心理学科
五輪出場：2回　92年バルセロナ（200m金メダル・100m11位・4×100mメドレーリレー7位）
　96年アトランタ（200m10位）
競泳引退：1998年
資　　格：日本赤十字社水上安全法救助員・日本赤十字社幼児安全法支援員
活　　動：メディア・イベント出演、トークショー・講演、執筆など

これだけで満点
美肌セット

アトムバランス
栄養学